

## 1. 事業の必要性・概要

東北地方太平洋沿岸は生物多様性が高く、風光明媚な地域が多いことから、陸中海岸国立公園をはじめ、多くの自然公園が指定されており、多くの観光客が訪れる（約1,778万人（H21））。東日本大震災では、東北地方太平洋沿岸の自然環境が大きく改変されるとともに、自然公園の利用施設や自然体験プログラムの提供団体等にも大きな被害があった。

「東日本大震災からの復興の基本方針（平成23年7月29日。東日本大震災復興対策本部）」では、自然公園の再編成（三陸復興国立公園の創設）や、長距離海岸自然歩道（みちのく潮風トレイル）の路線設定、農林水産業と連携したエコツーリズムの推進、津波の影響を受けた自然環境の現況調査と経年変化状況のモニタリングを行うことなどが位置づけられている。これに基づき、中央環境審議会、地域での意見交換会等の結果を踏まえ、環境省では、平成24年5月に「三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」を策定した。

本事業では、このビジョンに基づく各種事業（グリーン復興プロジェクト）を実施することにより、被災地の復興に貢献するものである。

## 2. 事業計画（業務内容）

### ①国立公園再編成推進事業

平成24～26年度：自然公園の再編成を段階的に実施

平成27年度：長距離自然歩道（みちのく潮風トレイル）の全線開通

### ②国立公園適正管理推進事業

平成25～27年度：各種グリーン復興プロジェクトの推進

平成27～32年度：みちのく潮風トレイルの地域運営体制構築への支援

### ③自然環境変化状況の把握事業

平成24～27年度：自然環境のモニタリング（平成27年度にとりまとめ）

平成28年度～30年度：自然環境変化状況の把握（福島県内）

## 3. 施策の効果

三陸沿岸地域の国立公園利用者数を震災前の水準に回復させるとともに、本事業が地域の自立的な取組へ繋がるよう支援し、被災地の復興及び復興後も地域の活性化が継続していくことを目指す。

# 三陸復興国立公園再編成等推進事業費

平成27年度予算要求額：737百万円（522百万円）



## <背景>

### ■東日本大震災

- ・自然環境、自然公園施設・自然体験型利用への影響
- ・自然の脅威とのかかわり方の再考

### ■守り・育まれてきた自然と人とのかかわり

- ・豊かな自然に支えられた地域の暮らし、文化、産業、里山・里海



## 三陸復興国立公園の創設を核とした グリーン復興を実施<7つのプロジェクト>

- ①三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）
- ②里山・里海フィールドミュージアムと施設整備
- ③地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅
- ④南北につなぎ交流を深める道・みちのく潮風トレイル
- ⑤森・里・川・海のつながりの再生
- ⑥持続可能な社会を担う人づくりの推進
- ⑦地震・津波による自然環境への影響の把握

支出予定先：民間団体等